

Financial Results 1Q

2026年8月期 第1四半期 決算説明資料

2026年1月14日



エコモット株式会社

証券コード：3987

01 当社の概要

02 第1四半期決算概要

03 事業運営の進捗状況

04 Appendix

01

当社の概要

未来の常識を創る

近い未来、それが当たり前になるような
新しい革命的な製品を世に出し、人々の幸せに貢献します。

VISION

もっと、
グリーンな明日に。

AI & IoT で社会課題を解決

地球規模での環境危機は深刻化の一途を辿り、同時に、少子高齢化や労働人口の減少は、産業構造と社会基盤の維持に大きな課題を突きつけています。経済成長を追求する中で生じた、これらの複雑に絡み合う社会課題は、私たち次世代の責任として、根本的な解決が求められています。

AIやIoTなどの最先端のテクノロジーを社会に実装し、そうした社会課題を解決していくことが、私たちの使命です。

地球環境と人間社会、双方の課題の解決を通じて、持続可能な未来社会の実現に、私たちは貢献していきます。

CREDO

Commit to Growth
成長にコミット

Challenge for Innovation
イノベーションへの挑戦

Communicate with Team
チームでコミュニケーション

Carefully and Speedy
注意深くスピーディに

Contribution to Society
社会への貢献

Care for Wellness
健康に気を配る

02

第1四半期決算概要

**連結売上高が前期比8.7%増加
営業利益率は前期比2.3ポイント改善へ**

IoTビジネスイノベーション・コンストラクションソリューションとともに売上拡大
売上総利益率が改善したことで収益性向上

業績ハイライト

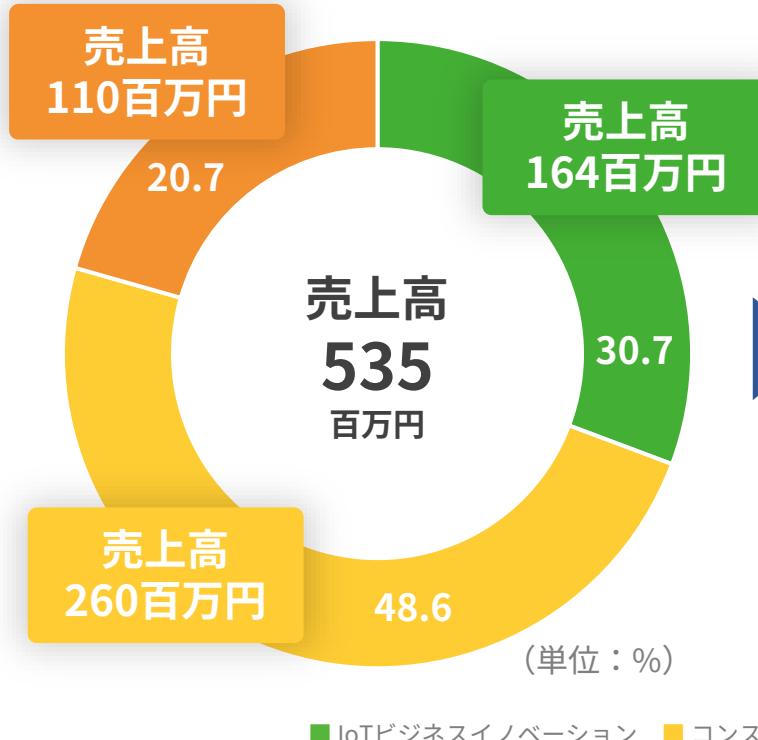


IoTビジネスイノベーション、コンストラクションソリューションとともに売上高が増加
原価率改善による収益性が向上したことで営業利益・純利益ともに前年同期比で伸長し、增收増益となった

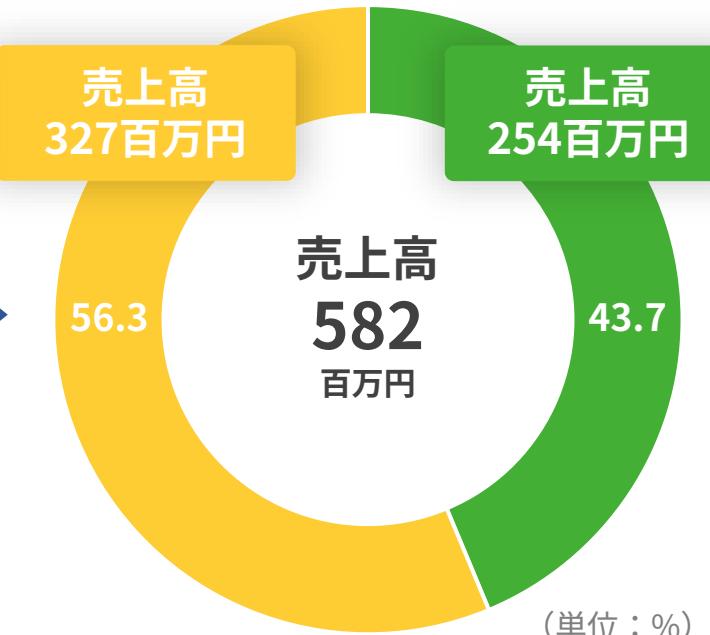
(単位：百万円)	2026年8月期 1Q実績		2025年8月期 1Q実績		前期比較	
	実績	売上比	実績	売上比	実績増減	前期比
売上高	582	-	535	-	+46	8.7%増
売上総利益	222	38.2%	199	37.3%	+22	11.3%増
営業損失	▲26	▲4.6%	▲36	▲6.9%	+10	-
純損失	▲28	▲4.9%	▲52	▲9.9%	+24	-

ソリューション別売上高増減要因

2025年8月期第1四半期売上高



2026年8月期第1四半期売上高



※連結子会社パワーでんきイノベーションの売却（2025年8月29日売却）に伴い、売上高の構成が大きく変化

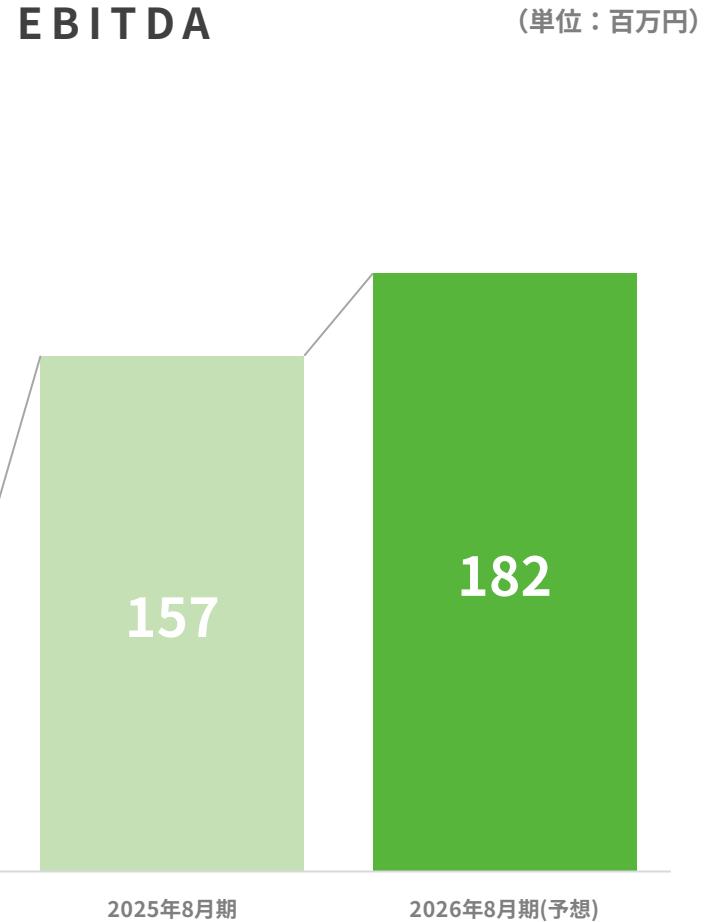
ゆりもっとはほぼ前年並みで堅調に推移、KDDI株式会社とのアライアンス、積水樹脂株式会社との共同開発も計画通りに進捗

その他、保守・開発含めた直販案件の好調により売上増につながった

生産性向上AIカメラ「PROLICA」をはじめとするAI活用案件の拡大、配筋検査ARシステム「BAIAS」やコンクリート養生温湿度管理システム「おんどロイド」、「GenVital LTE」が好調に推移

またゼネコン各社との共創事業も拡大した結果、売上増につながった

業績推移



03

事業運営の進捗状況

IoTビジネスイノベーション

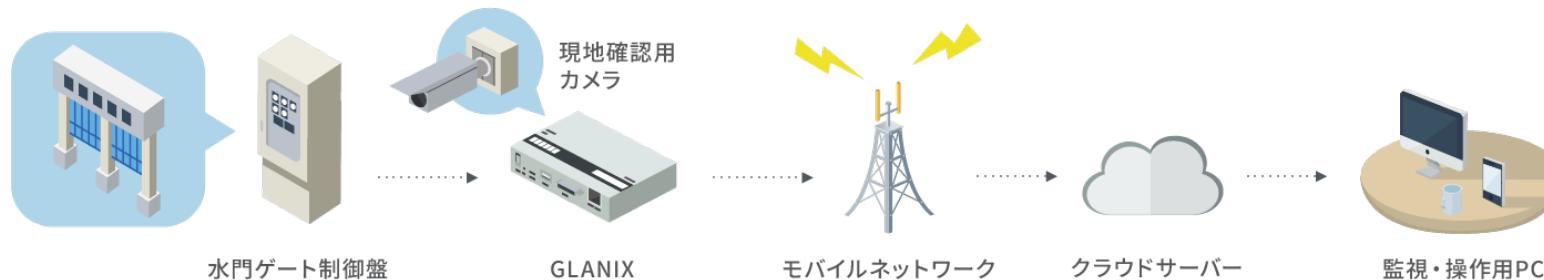


水門遠隔操作の実証実験を青森県弘前市で開始

豪雨・豪雪時の安全確保と迅速な対応を実現し防災と地域の効率化に貢献

岩木川土地改良区と青森県弘前市が管理する水門において、IoTデータコレクトプラットフォーム「FASTIO」を用いた水門遠隔操作の実証実験を2025年9月から開始

大雨や冬期間の除雪が困難な状況下における水門操作の迅速な対応を可能にし、移動にかかる時間やコストの削減を図る



POINT

- IoTの活用

既存の水門ゲート操作盤にIoT接点・画像伝送端末「GLANIX LTE」を組み込み安価かつ容易に遠隔操作を実現

これにより緊急時であっても操作員は遠隔地から安全に水門を開閉可能にする

- 今後の展望

今回の実証実験で得られた知見・ノウハウを活用した水門遠隔操作システムのさらなる普及インフラ維持管理における人手不足や高齢化を背景とした課題に対し、IoT・AIを活用した省人化ソリューションを展開

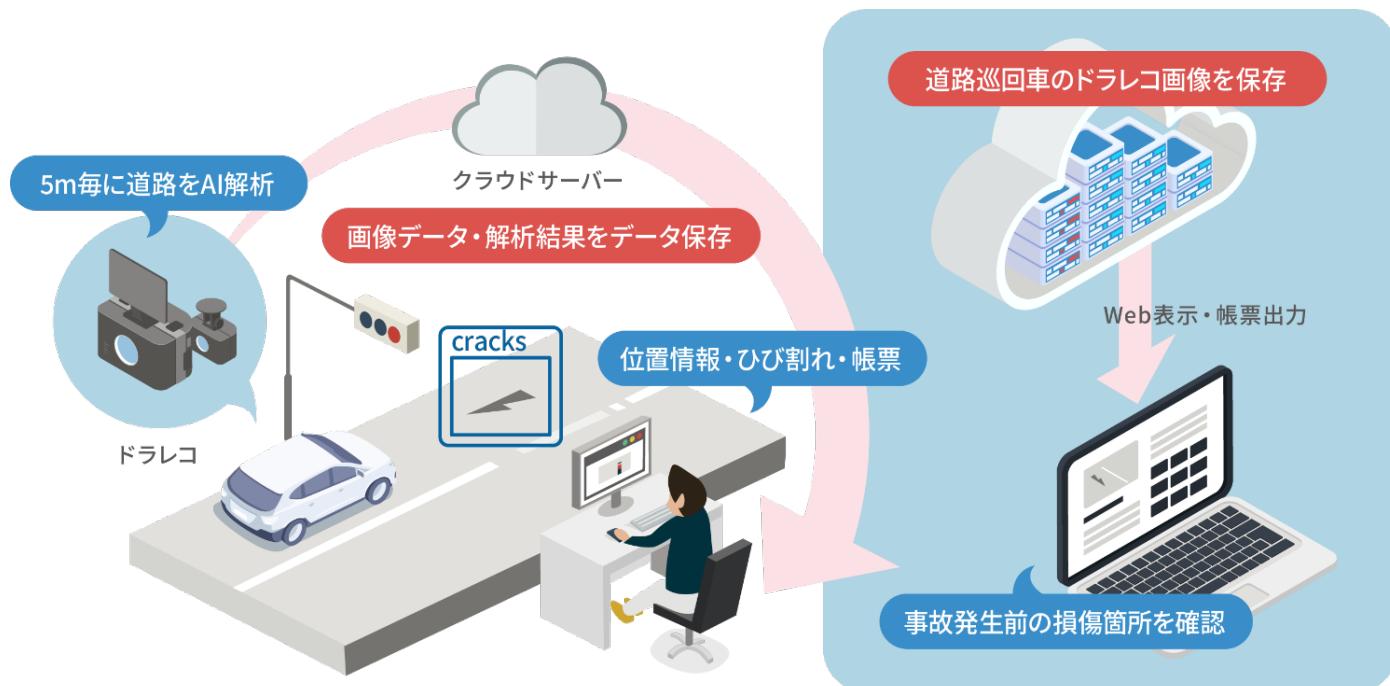
水門にとどまらない河川・道路・ダム等の各種インフラ施設への適用拡大と、監視・遠隔操作・自動制御を通じた管理業務の省人化を実現

IoTビジネスイノベーション



道路の「予防保全」を促進し、維持管理・更新費の削減へ

国土交通省中部地方整備局公募の現場ニーズ「道路異常箇所の自動抽出・事故損傷箇所を判別する技術」への選定に続き、札幌市の官民連携窓口「SAPPORO CO-CREATION GATE」に提案、「IoT・AIを活用した舗装点検の自動モニタリング・診断システム」における2025年11月からの実証実験開始



POINT

- 札幌市における実証の背景**
積雪寒冷地では凍結と解凍が繰り返されコンクリートやアスファルトに微細な亀裂が生じ、ひび割れやポットホールの発生リスクが高い
こうした積雪寒冷地特有の環境下において損傷の兆候を早期に検知し、事故や通行障害の未然防止に貢献
- 社会課題の解決**
社会問題化する道路陥没事故を対象に、ドライブレコーダー画像から道路のひび割れや沈下の兆候を検出し、早期修繕による陥没事故の未然防止を実現する技術の確立および実用化に向けた改良を進める
当技術を通じて老朽化が進むインフラの維持管理コスト削減と、災害に強い安全なまちづくりへの貢献を目指す
- SAPPORO CO-CREATION GATEとは**
札幌市が2024年7月に開設した官民連携のワンストップ窓口で、民間事業者からの提案を受け付け、地域課題の解決や新たな価値創造を目指すための支援を行う仕組み



SAPPORO
CO-CREATION
GATE

生産性向上AIカメラ「PROLICA」の技術を応用した、音声AI検知システムを 戸田建設株式会社と共同開発

2025年10月に戸田建設・GRIFFY間の資本業務提携が成立したことを機に、実現場の課題に即したサービスの共同開発を一層推進する

開発の背景

作業ヤードが救急病院に隣接し、緊急車両の通行が多い一般道を工事車両が通行するにあたり、出庫する工事車両が緊急車両の通行を妨げないような配慮が必要



開発の成果

- エッジAIカメラ「PROLICA」により、屋外用マイクで収集した音声データのAI解析を行い、工事箇所に接近するサイレン鳴動中の救急車のみを検知するシステムを開発
- 検知時には工事出入口に設置したパトランプとカーゲートを作動させ、工事車両の出場を一時的に停止し、緊急車両の円滑な通行確保を実現。



戸田建設の施工
現場で実証し
識別アルゴリズム
を改良

検知率98%達成
実環境下でも
高い信頼性を
もって運用可能で
あることを確認

POINT

- 緊急車両に配慮した工事車両の出庫が求められるシチュエーションに対応するため、接近する緊急車両のサイレン音をAI音声解析により検知し、工事車両の出庫を一時的に停止するシステムを開発

戸田建設の施工現場で実証を重ねることで検知率98%を達成

今後の展望

2025年10月に戸田建設・GRIFFY間の資本業務提携が成立したことを機に、本技術のような実現場の課題に即したサービスの共同開発を一層推進する予定

生産性向上AIカメラ『PROLICA』

NETIS 登録製品

- エッジAIによりカメラ映像を解析することで、目視による状況認識や異常検知を代行し、省人化に貢献
- 警報器やLED電光表示板、カーゲート等との連動も可能であり、効果的な安全対策を実現

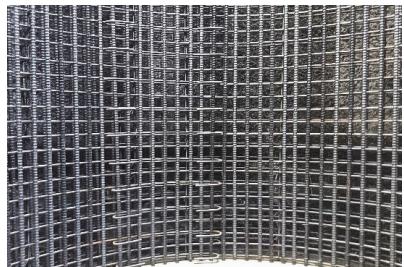


共同開発者である村本建設株式会社からの提案により、 配筋検査ARシステム「BAIAS」へ新機能「円弧計測モード」を実装

2025年10月に村本建設・GRIFFY間の資本業務提携が成立したことを機に、
実現場の課題に即したサービスの共同開発を一層推進する

開発の背景

円形ケーソンや円形深礎工を基礎とするコンクリート製橋脚等の施工時に、円弧状に配置された配筋の本数や間隔の計測ニーズ



開発の成果

- iPad Proの画面上にて、設計値から生成された円弧状のARオブジェクトを対象鉄筋の円周に合わせ、ARマーカーを現実の鉄筋に重ねることで、正円の円弧上に配置された鉄筋の計測を実現



2025年12月
機能リリース

活用事例の第一弾
村本建設施工の
橋梁下部工事*で
本機能を活用

*大和御所道路曾我高架橋
(PD6) 下部工事

現場からフィード
バックを受領し
改良を重ねる

配筋検査ARシステム『BAIAS』

- iPad Proで鉄筋コンクリート構造物の配筋検査を1名でも簡単に実施できるシステム
- 2025年4月に国土交通省よりNETIS「活用促進技術」に選定
- 導入実績は毎年増加しており、累計250現場を突破（2025年12月末時点）

下記の特徴により、生産性や作業効率を大幅に改善

- 5m四方の計測が可能で、複数回計測の手間を軽減
- 計測時の通信やサーバーでの解析が不要で、安定かつスピーディーな計測が可能
- ダブル配筋への対応や多様な計測機能を実装・低価格での提供



NETIS 登録製品

POINT

- これまで円弧状に配置された配筋の本数や間隔の計測は未実装であったが、村本建設から助言を受けながら開発を進め、2025年12月に機能リリースを完了

村本建設の施工現場で実際に使用し、フィードバックを受領し改良を重ねる予定

今後の展望

2025年10月に村本建設・GRIFFY間の資本業務提携が成立したことを機に、本技術のような実現場の課題に即したサービスの共同開発を一層推進する予定

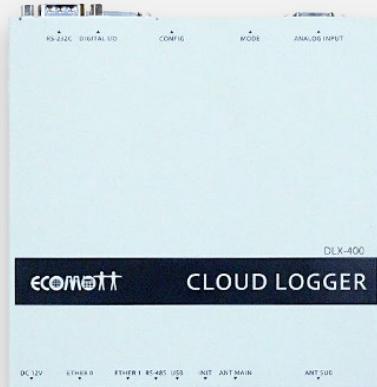
エコモットが提供する3つのIoT製品がJC-STARに適合



JC-STARはIPA（独立行政法人情報処理推進機構）が運用する、IoT製品を対象としたセキュリティ評価・ラベリング制度。本制度の取得を推進することでセキュリティ要求の高い分野においても安心して導入いただける製品を積極的に市場へ提供し、さらなる市場展開とIoT技術の普及、そしてテクノロジーの社会実装の加速を目指す。

クラウドロガーLTE

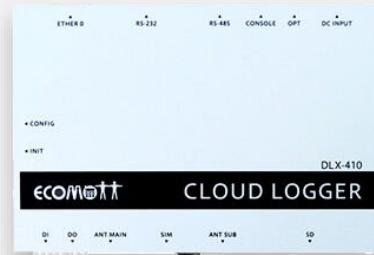
DLX-400



2025年7月30日取得

クラウドロガーLTE (Cat1)

DLX-410



2025年9月30日取得

STZ-DR20J



2025年10月29日取得

04

Appendix

会社概要



社名 エコモット株式会社

代表者 代表取締役 入澤 拓也

設立 2007年2月（決算期：8月）

資本金 6億1,796万円（2025年11月末現在）

本社所在地 北海道札幌市中央区北1条東1丁目2-5
カレスサッポロビル7F

営業所 札幌・東京・青森

事業概要 IoTインテグレーション事業

2017年6月21日 札幌証券取引所アンビシャス上場

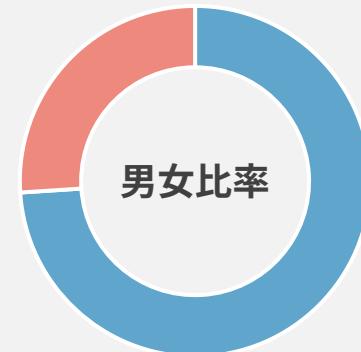
2018年6月22日 東京証券取引所マザーズ(現グロース)上場

2019年1月16日 KDDI株式会社と資本業務提携

2023年3月27日 積水樹脂株式会社と資本業務提携

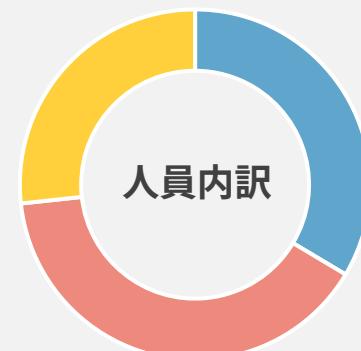
従業員数（連結）

134名（12名） 2025年11月末時点



男性 … 74.0%

女性 … 26.0%



■ 営業職 … 33.6%

営業・カスタマーサービス 他

■ 技術職 … 39.7%

SE、設計製造、工事 他

■ 管理・総合職 … 26.7%

管理・カスタマーサポート 他

※従業員数は就業人員数（当社グループから社外への出向者・役員を除く）であり、臨時雇用者数（パートタイマー）は〔 〕内に記載しております



サステナブル（持続可能）な社会の実現

事業紹介



創業以来、一貫してIoTインテグレーション専業プロバイダーとしてソリューションを提供



IoTインテグレーション事業

IoTビジネス
イノベーション

コンストラクション
ソリューション
 GRIFFY

エコモットの中核であるIoTインテグレーションを中心にDXを支援、「ゆりもっと」などのIoTプロダクト販売等を行う



FASTIO

IoTプラットフォーム



ゆりもっと

融雪システム遠隔監視ソリューション



Yourstand

EV充電スタンド集合住向けソリューション

持分法適用会社



PREMIER
BrightConnect



Pdrive

モビリティサービス

建設現場の安全性、生産性、施工品質水準をデジタルテクノロジーによって向上させ、国土の発展ならびに防災に貢献する



現場ロイド

建設情報化施工支援ソリューション

ワンストップならではの“インテグレーション（構築）力”



各ベンダー、メーカー間の調整に不要な時間を要さず、迅速なサービス提供が可能

エコモット（垂直統合）

保守・セキュリティ対応

制御盤製造・設置・メンテナンス

AI・WEBアプリケーション設計・開発

ファームウェア・組込ソフト設計開発

ハードウェア選定・設計・製造

全て一気通貫

一般的IoT業界（水平分業）

業者専門

ハードウェア選定・設計・製造

業者専門

ファームウェア・組込ソフト設計開発

業者専門

AI・WEBアプリケーション設計・開発

業者専門

制御盤製造・設置・メンテナンス

業者専門

保守・セキュリティ対応

高額・責任の所在が不明・遅滞

専門業者別に手配・発注し分業

ターゲット市場：国内IoT市場



2023年の国内IoT市場規模は6兆9,189億円、CAGRは8%と予測※されていたことから、2025年の市場規模は約8兆702億円に達し、2028年には約10兆1,653億円規模まで成長すると推計される
また国内AIシステム市場とのシナジーにより予測を上回る成長も期待されている市場である

国内IoT市場

約8兆702億円[※]

2025年（参考推計値）

注目市場

カーテレマ
ティクス

製造
産業

公共
インフラ
管理

建築
DX

etc.

成長の背景にはIoT技術の普及と認知拡大が要因であると考えられ、様々な業種の企業も生産性や効率の向上を目指しIoTを採用している

DXの推進にはIoTは不可欠であり、より高まるIoT需要に応えるべく、ターゲット市場を明確にし、最適な製品・サービスの提供に注力していく

※ IDCJapan株式会社「生成AIや衛星通信の普及がIoT市場の拡大を後押しする～国内IoT市場、産業分野別テクノロジー別予測アップデートを発表～」の2023年実績値を基に、年平均成長率8%で算出した国内IoT市場の推計値

国内AIシステム市場は、2024年に支出額ベースで1兆3,412億円（前年比56.5%増）に達しており、今後もCAGR25.6%という高い成長率で拡大が続く見込み
2029年には4兆1,873億円に達すると予測されており、持続的な市場拡大が期待される分野^{*}

国内AIシステム市場

1兆3,412億円^{*}

2024年実績値（支出額ベース）

注目市場

カーテレマ
ティクス

製造
産業

公共
インフラ
管理

建築
DX

etc.

国内AIシステム市場のCAGR25.6%という高成長を背景にAI活用が進む中、リアルデータを継続的に取得活用する基盤としてのIoT需要は国内AIシステム市場の隆盛を起点として拡大し、国内IoT市場は従来想定してきたCAGR8%を上回る成長が期待される

こうした市場環境と業務効率化等のニーズの高まりを踏まえ、エッジAIをはじめとするAI内包型IoTサービスの提供に注力していく

出典

※ IDCJapan株式会社「国内AIシステム市場予測を発表」

ビジネスモデル：IoTビジネスイノベーション



顧客の課題をヒアリング、ターゲットとなる「モノ」からデータ収集を行い、サーバー構築からアプリ開発、必要に応じてAIも活用した業務効率化・品質向上にも対応

社内IT人材不足や各レイヤーにおけるデバイス・開発パートナー選定といった悩みを解消し、DXにおけるベネフィットの最大化という本質的な価値に集中できるIoTプラットフォームを中心に事業を展開

「つなげる力」を強みとした、包括的なIoTプラットフォーム



事例01：KDDI 「KDDI IoTクラウドStandard」



FASTIOをベースにKDDIと共同開発

現地に設置したセンサー・カメラなどの2,000種類以上の機器をインターネットに接続することでさまざまなデータの収集・分析が可能なサービス

要望に応じてカスタマイズ可能な「コース」と開発不要で簡単に導入できる「パッケージ」の2種から選択可能

事例02：積水樹脂 「ICOT-LINK」



IoT製品を地図データと連携させ、遠隔監視、制御、データ分析、システム連携可能な Web アプリケーションサービス「ICOT-LINK®」を積水樹脂と共同開発

ICOT-LINK対応製品の第一弾としてスマートLED表示板「オプトマーカーICOT」をリリース

サービス紹介：IoTビジネスイノベーション



融雪システム遠隔監視ソリューション

YR ゆりもっと

融雪ボイラーが設置されている施設の路面状況を、当社の監視センターで遠隔監視、従来の降雪センサーによる運用と比べ、融雪にかかるエネルギーコストを大幅に削減することができるサービス

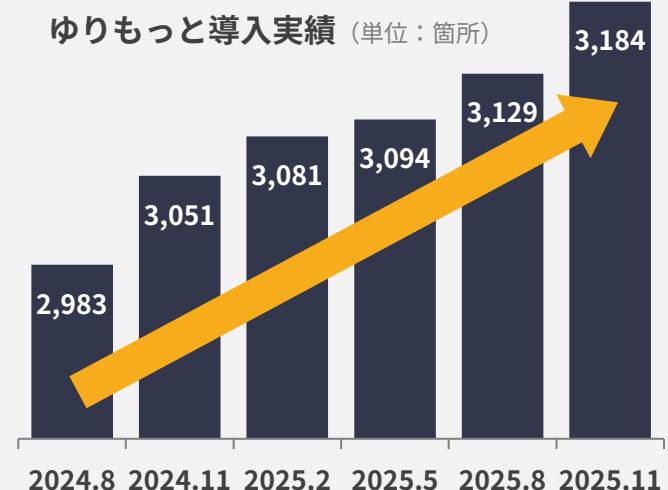


POINT

- ・ 北海道・北東北のマンションを顧客とし、3,000箇所以上の監視実績、同業他社との協業により、導入実績が増加
- ・ 灯油・ガス等の年間燃料コストを平均約42%削減
- ・ 1シーズンで39,000トン超のCO₂削減
(日本人1人あたりCO₂排出量8.4トン※)
- ・ AIモデルを構築し検証・評価フェーズへ移行、今シーズンは監視員による判断とAI判定結果の比較検証を通じ精度向上を推進

※全国地球温暖化防止活動推進センター
「日本の二酸化炭素排出量の推移」。
<https://www.jccca.org/download/65455> (2024/4/3)

ゆりもっと導入実績 (単位：箇所)



サービス紹介：コンストラクションソリューション

建設現場向けDXサービス（NETIS対応）



GR 現場ロイド

20,000件以上の土木建設・災害現場でご利用いただいている
「現場の見える化」サービス

工事現場の安全性向上・業務効率化・品質向上を目的とした多種多様な製品を提供

国土交通省NETIS「活用促進技術」に選定
対前年同期比で受注数が約140%と好調

2024年5月、国土交通省「NETIS」に
登録、更なる普及が期待される

トンネルや山間部でのニーズ増大によ
り対前年同期比で売上高が4倍超

BAIAS（バイアス） 配筋検査ARシステム



NETIS登録番号：CB-230022-VE

PROLICA（プロリカ） 生産性向上エッジAIカメラ



NETIS登録番号：KT-240018-A

Gウェーブ 通信不感地帯向けネットワーク構築



NETIS登録番号：KT-240171-A



POINT

- 販売代理店をメインとした全国の営業網で20,000件以上の導入実績
- 公共工事の入札時に加点評価がつくNETIS対応製品が豊富
- NETIS対応製品含む42アイテムものパッケージ製品を取り扱う

現場ロイド導入実績（単位：件）

年間2,000件以上UP



※GRIFFYの決算期は6月

持続可能な社会の実現



「もっと、グリーンな明日に。」をスローガンに社会の持続可能な発展を企業の責務と捉え、サステナビリティ活動を積極的に推進、未来の世代に豊かな地球を残すために企業活動のあらゆる側面で持続可能性を追求



もっと、グリーンな明日に。

環境

IoT・AI テクノロジーによるGX推進

- ユニークなアイディアで新しいソリューションを創出
- 融雪制御装置の省エネ運転でCO2削減
- 外部連携と社内実践で推進する環境活動

働く人

ウェルビーイングの向上

- 働きがいのある仕事・より良い働き方の構築
- 社員やその家族・大切な人のウェルビーイングの向上
- チームワークの向上と健康な体づくり

社会貢献

持続可能なまちづくり

- 次世代を担う人材の育成
- 安全で安心して暮せるまちづくり
- 災害対策と復興支援

エコモットサステナビリティレポート2025-2026

<https://www.ecomott.co.jp/sustainability.pdf>

Sustainability Report

サステナビリティレポート 2025-2026

もっと、グリーンな明日に。

ECOMOTT エコモット株式会社

人材への投資（福利厚生）



従業員が働きやすい環境と心身の健康を保つことが、充実した仕事とプライベートを両立させる基盤と考え制度を導入
これにより仕事における革新的なアイディアの創出が促進され、お互いの価値観を共有するチームワーク向上を目指す

働きがいのある仕事・より良い働き方の構築

社内表彰制度	新サービスの開発や新しい取り組みに対して表彰を行う制度 自薦他薦問わずバックオフィスから営業・開発まで幅広い人が受賞
--------	---

資格取得奨励金制度	会社が推奨している資格を取得すると受験料・テキスト代・報奨金を支給する制度常に成長し続ける社員を応援
-----------	--

インセンティブ制度	個人やチームの成果に対して賞与を支給する制度 成果や価値に対して賞与でも還元
-----------	---

社内交流制度：ランチ会や懇親会の費用を会社が負担する制度	
------------------------------	--

テレワーク制度・フレックス制度：幅広い働き方を支援	
---------------------------	--

奨学金返還支援制度：若手人材の奨学金返済による経済的負担軽減	NEW
--------------------------------	-----

ウェルビーイング・チームワーク向上と健康な体づくり

産後ケアホテル補助	産後ケアホテルの宿泊費を助成 産後の母親が十分な休息を取れる環境を提供
-----------	--

予防接種補助	従業員と扶養家族の予防接種の費用を会社が負担する制度 社員と家族の健康管理のために、社員の声から作った制度
--------	--

妊活補助	子どもがほしい社員を応援する制度 妊活特別休暇、妊活費用貸付、特定不妊治療費用補助の制度
------	---

ベビーシッター補助：ベビーシッターを利用した人に料金の一部または全部を補助	
---------------------------------------	--

法人契約スポーツジム：会社契約のスポーツジムを好きな時に利用	
--------------------------------	--

共済会制度：ご家族の健康診断の助成や宿泊補助、イベントチケットの優待	
------------------------------------	--

若手人材の獲得と育成

定職率向上

最先端技術の習得・革新的なアイディアの創出・チームワーク向上

優秀なIターン・Uターン人材の獲得

充実した仕事とプライベートの両立



サステナビリティ活動報告



全社的な研修・交流による従業員同士の連携強化と福利厚生の充実等の従業員が働きやすい環境の整備に加え、浜益区地域課題共助プロジェクトを通じて、地域との持続的な関係構築していくことで「働きやすい職場」と「持続可能なまちづくり」の実現を目指す

働く人 チームビルディングでより働きやすい環境を構築

チームビルディング研修では、LEGO®を活用した新ビジネスのアイデア創出と発表を通じて、柔軟な発想を促進
普段の業務では関わりの少ない社員同士がチームに分かれて協働することで、全社的な交流と連携強化を図る



働く人 奨学金返還支援制度の導入

教育による経済的負担を軽減し、誰もが公平に成長機会を得られる社会の実現を目指して、奨学金返還支援制度を導入
当制度を導入することによって、従業員の定着率・エンゲージメントの向上をはかり、持続可能な社会の発展に貢献する



社会貢献 浜益区地域づくり共助プロジェクト

現在、北海道石狩市浜益区での活動を継続、この地域を訪れる観光客の方々に地元の美味しい食材を堪能してもらうためのイベントに協力
この取り組みを通じて、地域との持続的な関係構築を目指す



※LEGO®はLEGO Groupの登録商標です。本研修はLEGO Groupが後援・承認・関与するものではありません。

もっと、グリーンな明日に。



本資料の取り扱いについて



- ・ 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- ・ 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- ・ 本資料で提供している情報は、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものです。

<本資料に関するお問い合わせ先>

エコモット株式会社 経営企画部
TEL : 011-558-2211 Mail : ir@ecomott.co.jp
URL : <https://www.ecomott.co.jp/>